

2016年度 第2四半期 業績概要

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2016年3月21日～2016年9月20日)

目次

1. 2016年度上期 連結決算

- 2016年度上期実績 (概要・セグメント別)
- 事業セグメント別売上高構成比
(15年度上期→16年度上期)
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
(15年度上期→16年度上期)
- 営業利益増減要因分析
(15年度上期→16年度上期)
- 2016年度7-9月期における取り組み

2. 2016年度下期 連結決算見通し

- 2016年度通期 業績見通し (概要・セグメント別)
- 営業利益増減要因分析
(15年度→16年度計画)
- 2016年度下期における取り組み

3. 参考資料

- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S 構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期別連結受注推移
- 主要生産拠点

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

セグメント別事業概要

モーション コントロール (M)

【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ パワーコンディショナ
- ・ EV用モータドライブシステム など



ACサーボ
Σ-7シリーズ



汎用インバータ
ゼロシリーズ



GaN搭載 太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ
システム

ロボット (R)

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人共存ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8



バイオメディカル向け
新形双腕ロボット

人共存形ロボット
MOTOMAN-HC10



システム エンジニアリング (S)

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品 など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



上下水道用
電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・ 情報関連事業
- ・ 物流サービス など

1. 2016年度上期 連結決算

2016年度 上期実績（概要）

- 利益は上期計画を達成
- 対前年同期では円高影響により減収減益

	<u>16年度 上期</u> <u>実績</u>	16年度 上期 計画	計画比	15年度 上期 実績	<u>前年同期比</u>	
					増減額	増減率
売上高	<u>1,876億円</u>	1,925億円	▲49億円	2,079億円	<u>▲203億円</u>	<u>▲9.8%</u>
営業利益	<u>138億円</u>	110億円	+28億円	190億円	<u>▲52億円</u>	<u>▲27.2%</u>
経常利益	<u>138億円</u>	110億円	+28億円	190億円	<u>▲52億円</u>	<u>▲27.6%</u>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<u>86億円</u>	70億円	+16億円	120億円	<u>▲34億円</u>	<u>▲28.4%</u>

2016年度 上期実績（セグメント別）

- (M)(R)は円高影響により減収減益も、
(S)は新規・既存事業ともに売上が伸張し収益は改善

（単位：億円）

		16年度 上期		16年度 上期		計画比 増減額	15年度 上期		前年同期比	
		実績	利益率	計画	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高		1,876		1,925		▲49	2,079		▲203	▲9.8%
(M)	モーションコントロール	887		895		▲8	982		▲95	▲9.7%
(R)	ロボット	684		705		▲21	774		▲90	▲11.6%
(S)	システムエンジニアリング	193		200		▲7	176		+16	+9.4%
	その他	113		125		▲12	148		▲34	▲23.3%
営業利益		138	7.4%	110	5.7%	+28	190	9.1%	▲52	▲27.2%
(M)	モーションコントロール	96	10.9%	84	9.3%	+13	123	12.5%	▲27	▲21.6%
(R)	ロボット	56	8.2%	47	6.6%	+9	89	11.5%	▲33	▲36.9%
(S)	システムエンジニアリング	▲7	▲3.5%	▲11	▲5.5%	+4	▲21	▲11.9%	+14	-
	その他	▲2	▲1.6%	▲2	▲1.8%	+0	5	3.6%	▲7	-
	消去または全社	▲6	-	▲7	-	+1	▲6	-	+0	-
経常利益		138	7.3%	110	5.7%	+28	190	9.1%	▲52	▲27.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益		86	4.6%	70	3.6%	+16	120	5.8%	▲34	▲28.4%

2016年度 上期実績（セグメント別）

モーションコントロール

- ・ ACサーボは、中国市場を中心にスマートフォンや自動車関連での旺盛な設備投資需要により堅調。円高影響を受けるも、販売量の増加や、主力製品「Σ-7シリーズ」への切替え加速が貢献し利益を確保
- ・ 汎用インバータは米国のオイル&ガス市場向け需要が低迷。加えて、国内の太陽光パワコン向け売上が縮小

ロボット

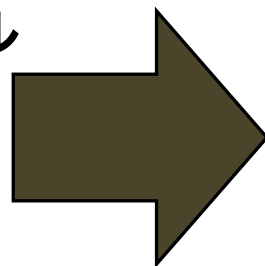
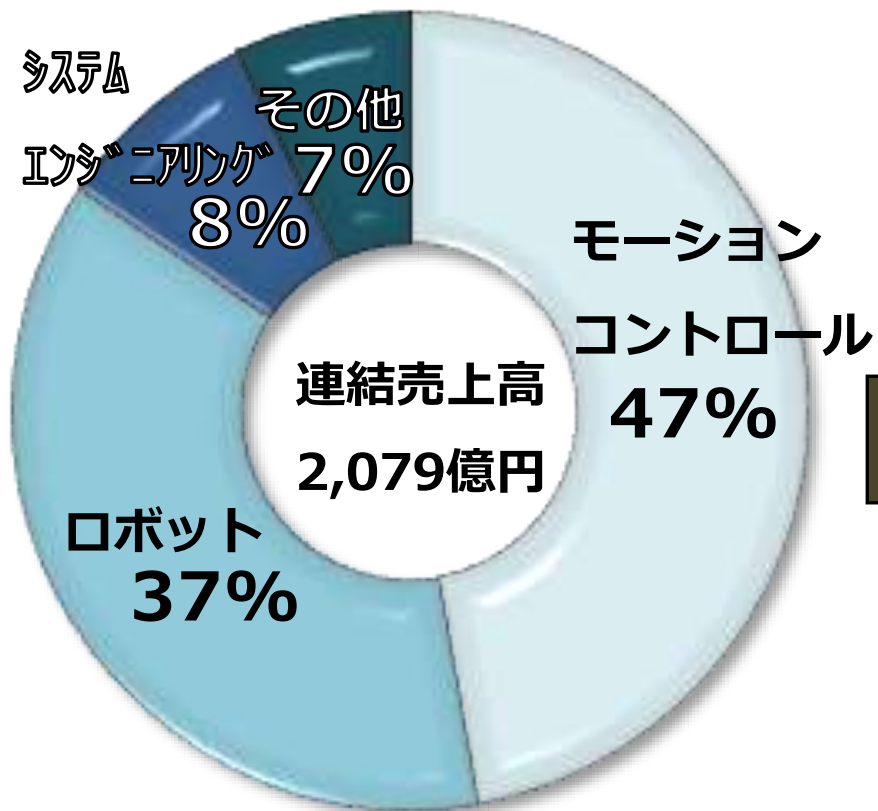
- ・ 国内や欧州を中心に底堅い推移も、1Qの中国における需要回復の遅れや、円高影響により、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少

システムエンジニアリング

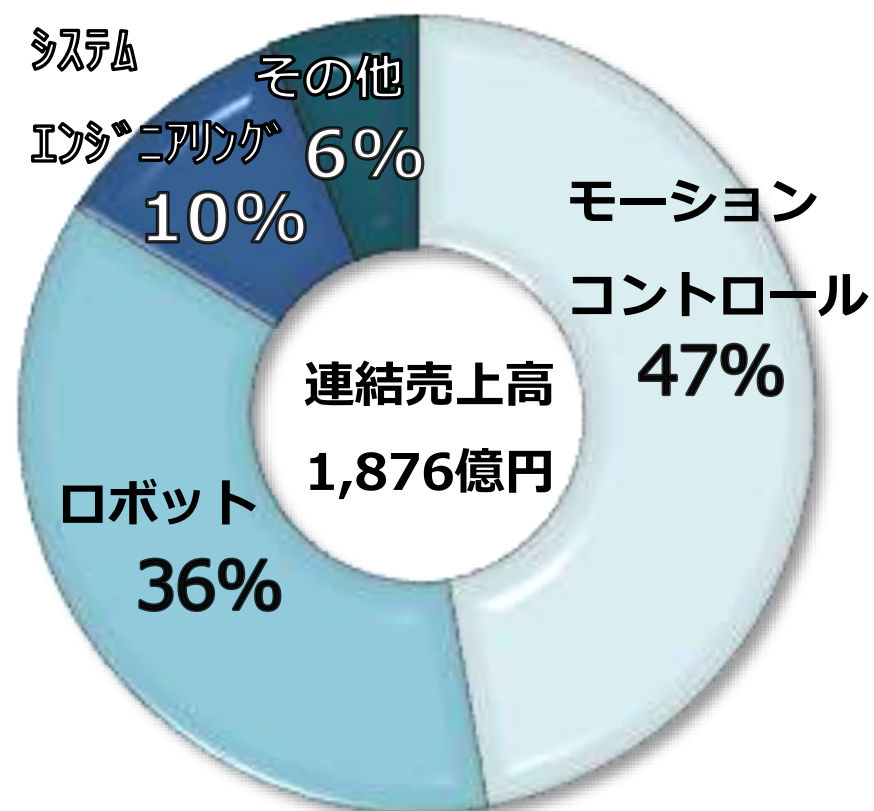
- ・ 鉄鋼プラント・社会システムにおいて、設備の更新ニーズを的確に捉えたほか、大型風力発電関連の売上増により収益が改善

事業セグメント別売上高構成比

15年度 上期



16年度 上期



仕向先別売上高（2015年度上期 → 2016年度上期）

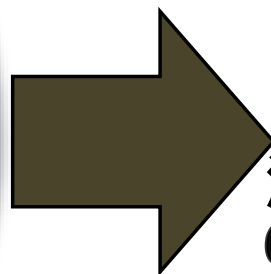
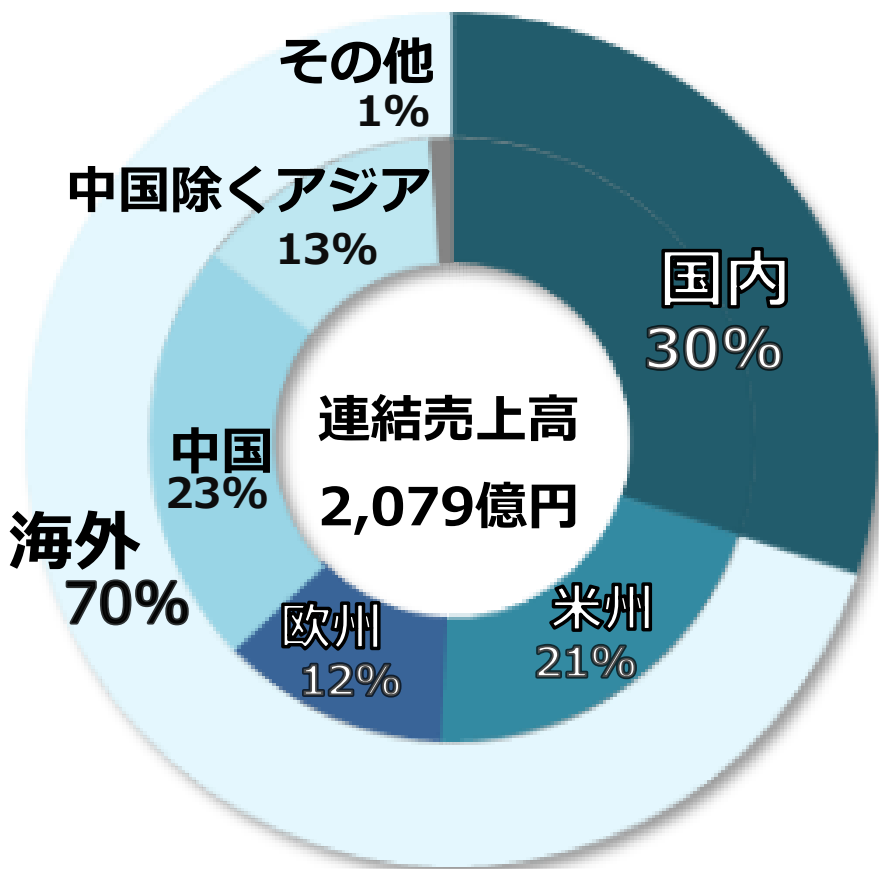
● 円高影響により、海外を中心に減収

（単位：億円）

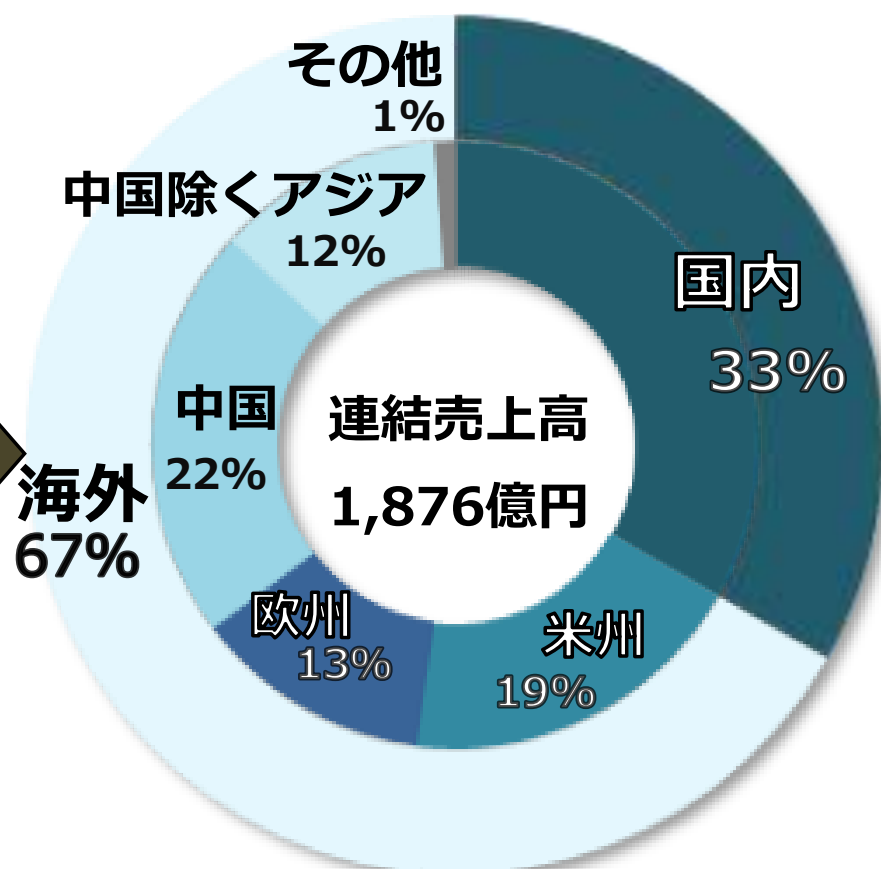
		16年度 上期	15年度 上期	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		1,876	2,079	▲203	▲9.8%
	国内	625	626	▲2	▲0.3%
	海外	1,252	1,453	▲201	▲13.9%
	米州	354	429	▲75	▲17.4%
	欧州	236	252	▲15	▲6.1%
	中国	415	473	▲59	▲12.4%
	中国除くアジア	226	275	▲49	▲17.8%
	その他	20	24	▲4	▲15.6%

[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含みます

15年度 上期

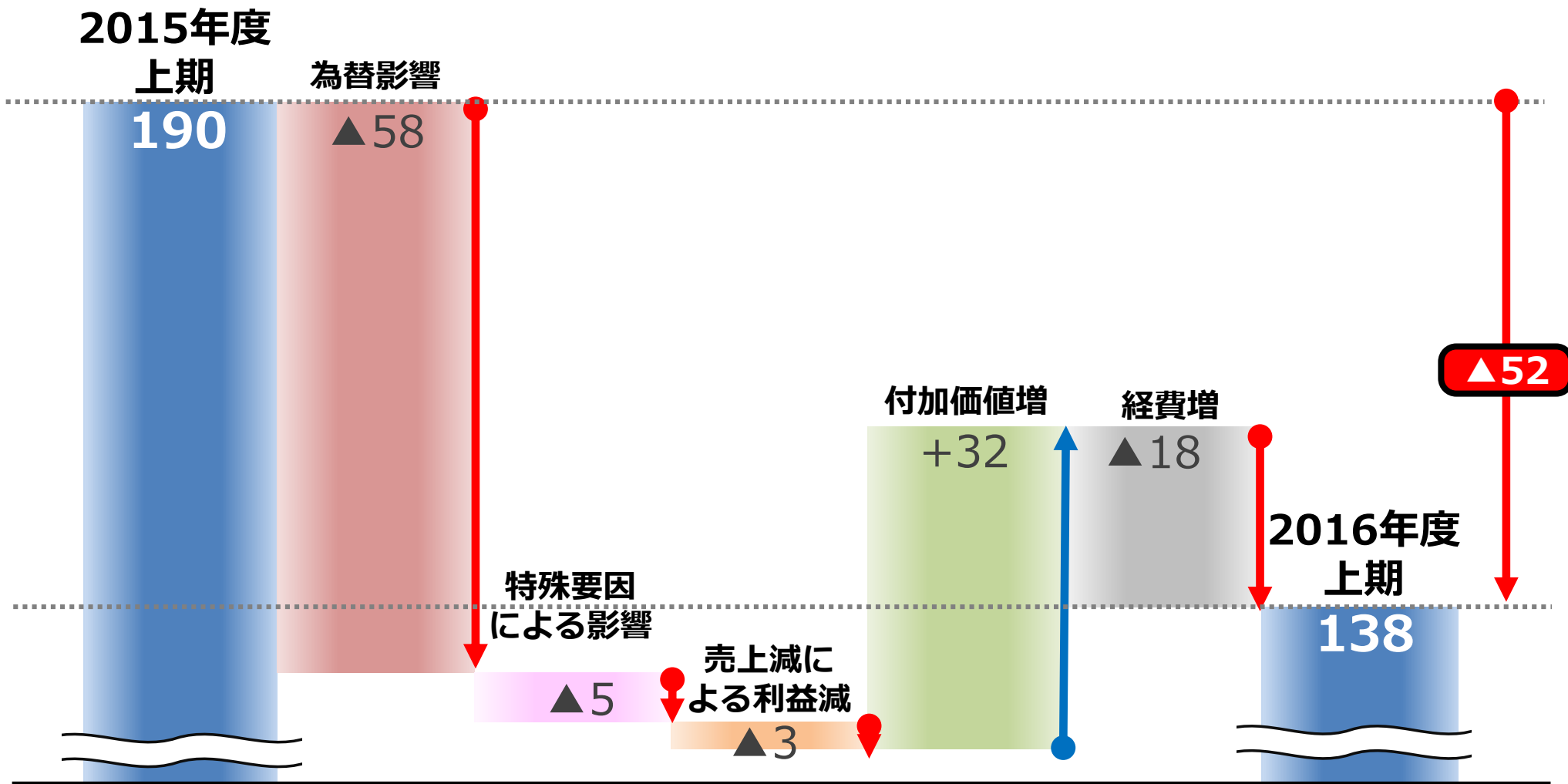


16年度 上期



営業利益増減要因分析（2015年度上期 → 2016年度上期）

（単位：億円）



2016年度7-9月期における取り組み

➤ コア事業の売上拡大

・ ACサーボドライブ「Σ-7」シリーズのラインアップ拡充

→切り替えを加速 (Σ-7切替率：16年度上期実績 53%(中国:86%))

・ 新型インバータ向けクラウドサービス「YASKAWA Drive Cloud」をスタート

→全主力製品において、IoT対応のクラウドサービスを展開
(ACサーボ向け「MechatroCloud」、ロボット向け「MOTOMAN-Cloud」)

・ 世界初となるAI搭載の新形溶接電源・交流ユニットを市場投入

→自動車の軽量化ニーズに応える薄板溶接に対応

➤ 新規事業の創出

・ バルチラ社(ルウェー) 船舶用ドライブ部門の取得

→スイッチ社とのシナジーによる船舶用ドライブ製品の開発強化と拡販加速

・ EVベンチャー企業 GLM株式会社との資本提携

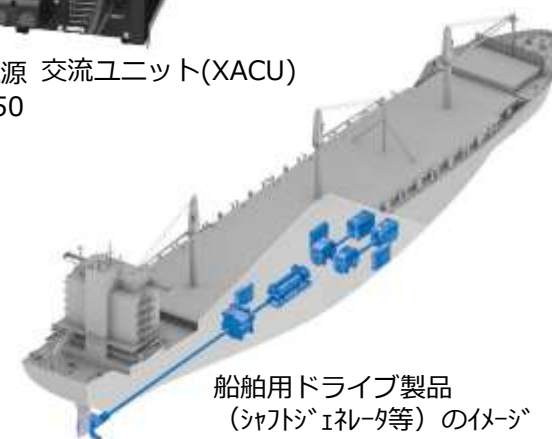
→当社特有の技術(QMETドライブ)を積極提供

・ 神奈川県「さがみロボット産業特区」の生活支援ロボット実用化プロジェクトに参加

→ルネサンス「元氣ジム湘南深沢」店に福祉機器(ReWalk等)を導入



YASKAWA Drive Cloud の概要



2. 2016年度下期および 通期連結決算見通し

2016年度通期見通し（概要）

●売上高は円高影響により下方修正も、利益は据え置き

	16年度 予想	16年度 前回計画	前回計画比 増減額	15年度 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	<u>3,900億円</u>	4,000億円	▲100億円	4,113億円	<u>▲213億円</u>	<u>▲5.2%</u>
営業利益	<u>280億円</u>	280億円	-	367億円	<u>▲87億円</u>	<u>▲23.8%</u>
経常利益	<u>285億円</u>	285億円	-	358億円	<u>▲73億円</u>	<u>▲20.5%</u>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<u>180億円</u>	180億円	-	224億円	<u>▲44億円</u>	<u>▲19.5%</u>

2016年度通期見通し（セグメント別）

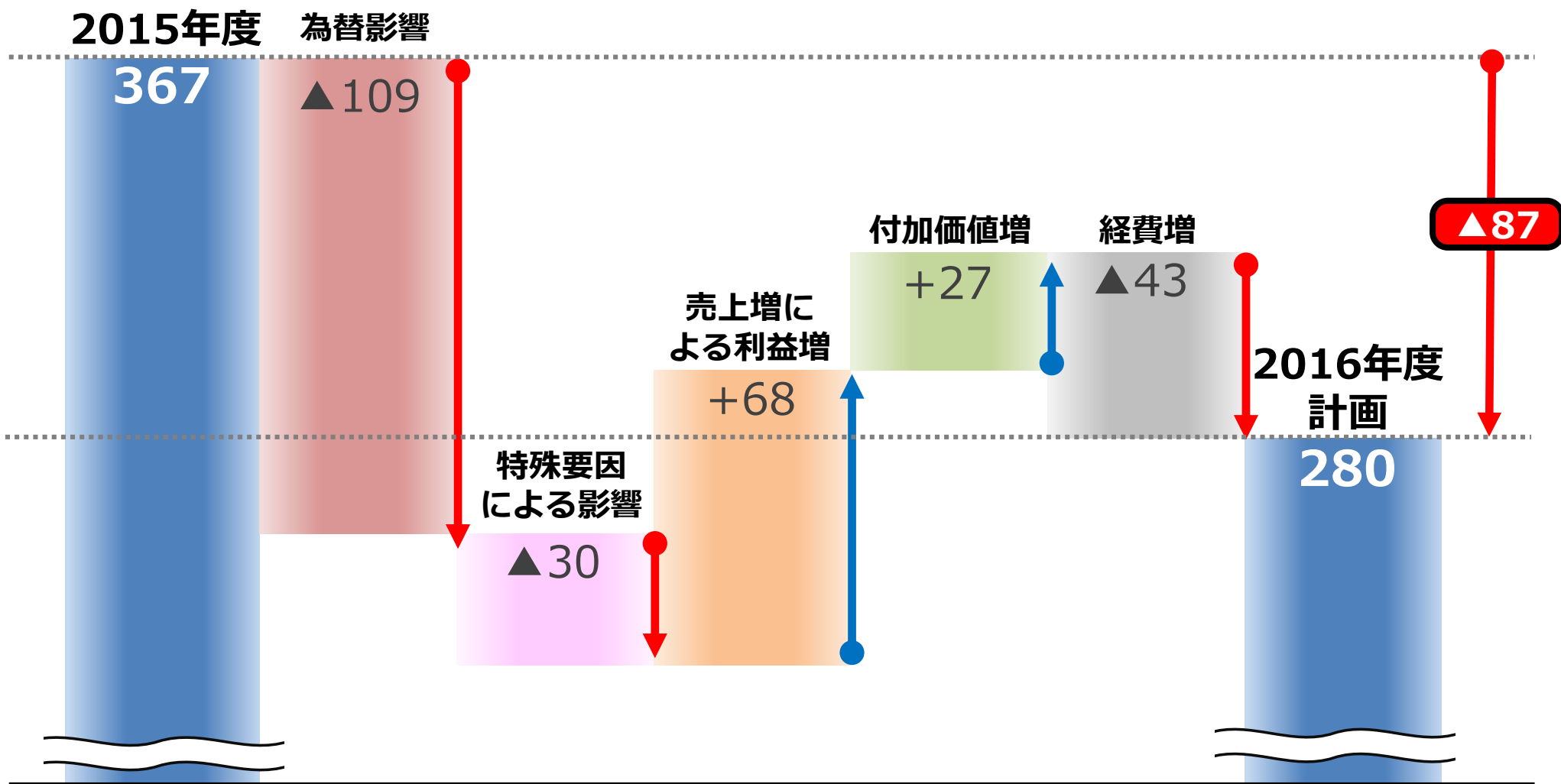
- 円高影響を受け、(R)を中心に売上高を下方修正
- 利益は (M)(S)の改善により据え置き

（単位：億円）

	16年度		16年度		前回予想比 増減額	15年度		前年同期比	
	計画	利益率	前回予想	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高	3,900		4,000		▲100	4,113		▲213	▲5.2%
(M) モーションコントロール	1,780		1,800		▲20	1,875		▲95	▲5.1%
(R) ロボット	1,395		1,500		▲105	1,541		▲146	▲9.5%
(S) システムエンジニアリング	500		470		+30	431		+69	+16.1%
その他	225		230		▲5	266		▲41	▲15.4%
営業利益	280	7.2%	280	7.0%	-	367	8.9%	▲87	▲23.8%
(M) モーションコントロール	179	10.1%	174	9.7%	+5	224	12.0%	▲45	▲19.9%
(R) ロボット	110	7.8%	113	7.5%	▲3	153	9.9%	▲44	▲28.5%
(S) システムエンジニアリング	6	1.2%	1	0.2%	+5	▲8	▲1.8%	+14	-
その他	▲3	▲1.4%	3	1.3%	▲6	9	3.2%	▲12	-
消去または全社	▲12	-	▲11	-	▲1	▲11	-	▲1	-
経常利益	285	7.3%	285	7.1%	-	358	8.7%	▲73	▲20.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	180	4.6%	180	4.5%	-	224	5.4%	▲44	▲19.5%

営業利益増減要因分析（2015年度 → 2016年度計画）

（単位：億円）



2016年度下期における取り組み

➤ コア事業の受注拡大

・ ACサーボドライブ「Σ-7」シリーズへの切替え加速

➔ Σ-7切替率:16年度下期計画 約60%(中国:約90%)

・ 塗装・シーリング用途ロボット分野における 韓国Doolim Robotics社とのシジャーによる拡販加速

・ ロボット新製品の開発・市場投入

➔ 新型のハンドリング・人協調ロボットを投入

・ ロボティクスソリューションビジネスの加速

➤ 環境・エネルギー分野のコア事業化加速

・ スイッチ社とのシジャー加速による大型風力発電事業のコア事業化

・ バルネア社獲得による船舶用ドライブビジネスの拡大

・ EV事業のコア事業化 (中国 奇瑞安川を通じた拡販)

➤ 開発力・生産力・販売力の加スファンクションによる強化

・ ロボットを中心としたAI技術の開発を強化

・ 欧州(スロベニア)におけるロボット生産拠点の設立 (生産開始予定: 18年9月)

・ 食品関連事業の取り組み加速



3. 参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	2016度計画
設備投資額	363.7	167.6	190.0
減価償却費	115.3	130.6	130.0

◆研究開発投資の状況

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	2016度計画
研究開発投資	153.1	168.2	180.0

◆為替状況

(円)

	2014年度			2015年度			2016年度想定		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	下期	通期
対 米ドル	102.2	114.2	108.2	121.9	119.8	120.8	107.1	105.0	106.1
対 ユーロ	139.4	139.9	139.7	134.3	131.8	133.0	120.0	115.0	117.5

B/S 構造の推移

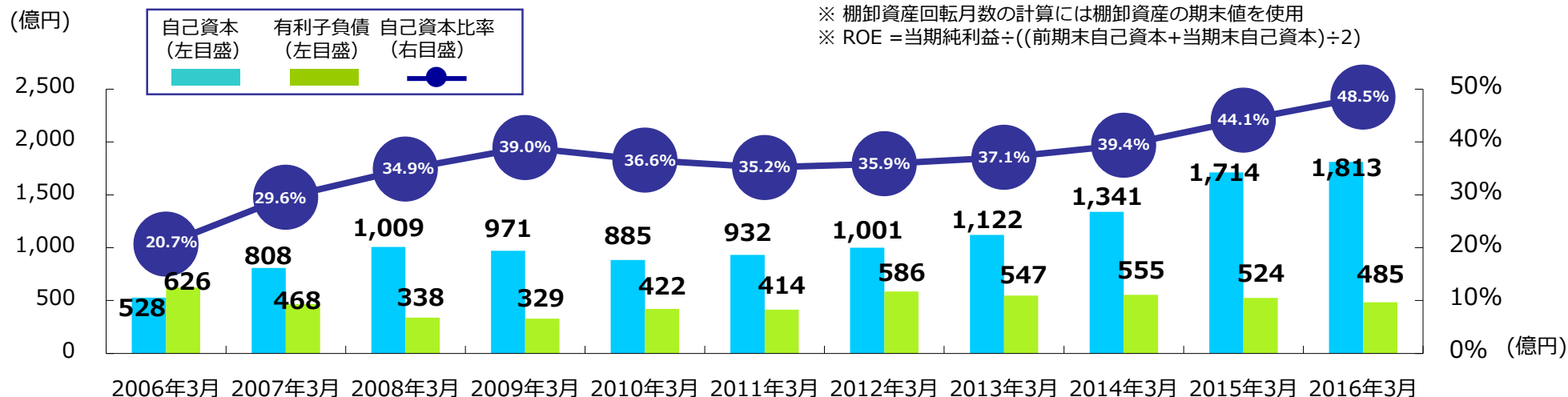
2016年3月20日時点

- 自己資本比率 48.5%
- 自己資本 1,813億円
- 有利子負債 485億円
- D/Eレシオ 0.27
(ネットD/Eレシオ) 0.09
- 棚卸資産 775億円
(回転月数) (2.3ヶ月)
- ROE 12.8%

2016年9月20日時点

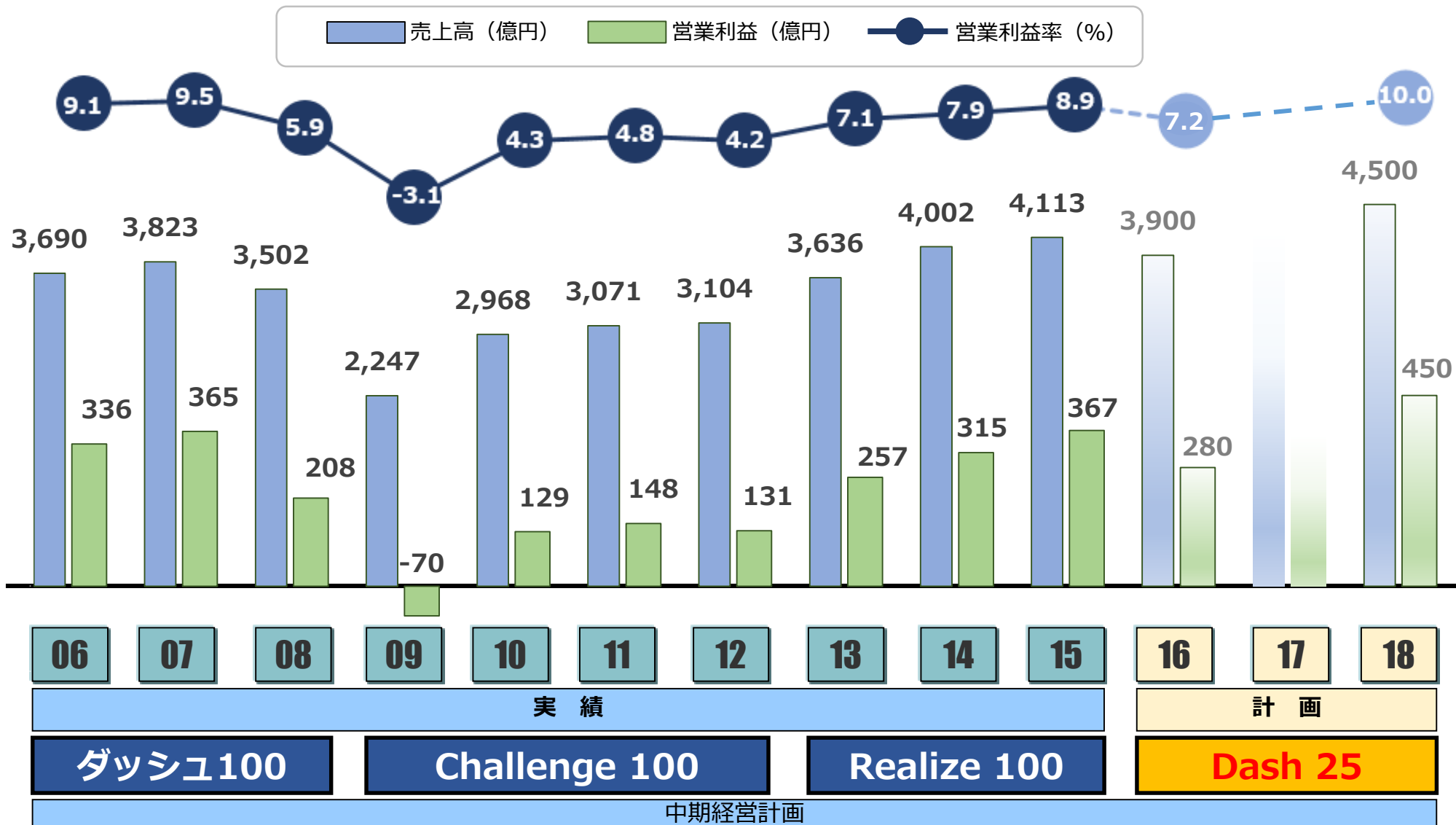
- 自己資本比率 49.0%
- 自己資本 1,789億円
- 有利子負債 423億円
- D/Eレシオ 0.24
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 768億円
(回転月数) (2.4ヶ月)

※ 有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)



営業CF	187	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320
投資CF	▲97	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181	▲169	▲279	▲224
フリーCF	90	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66	70	11	95

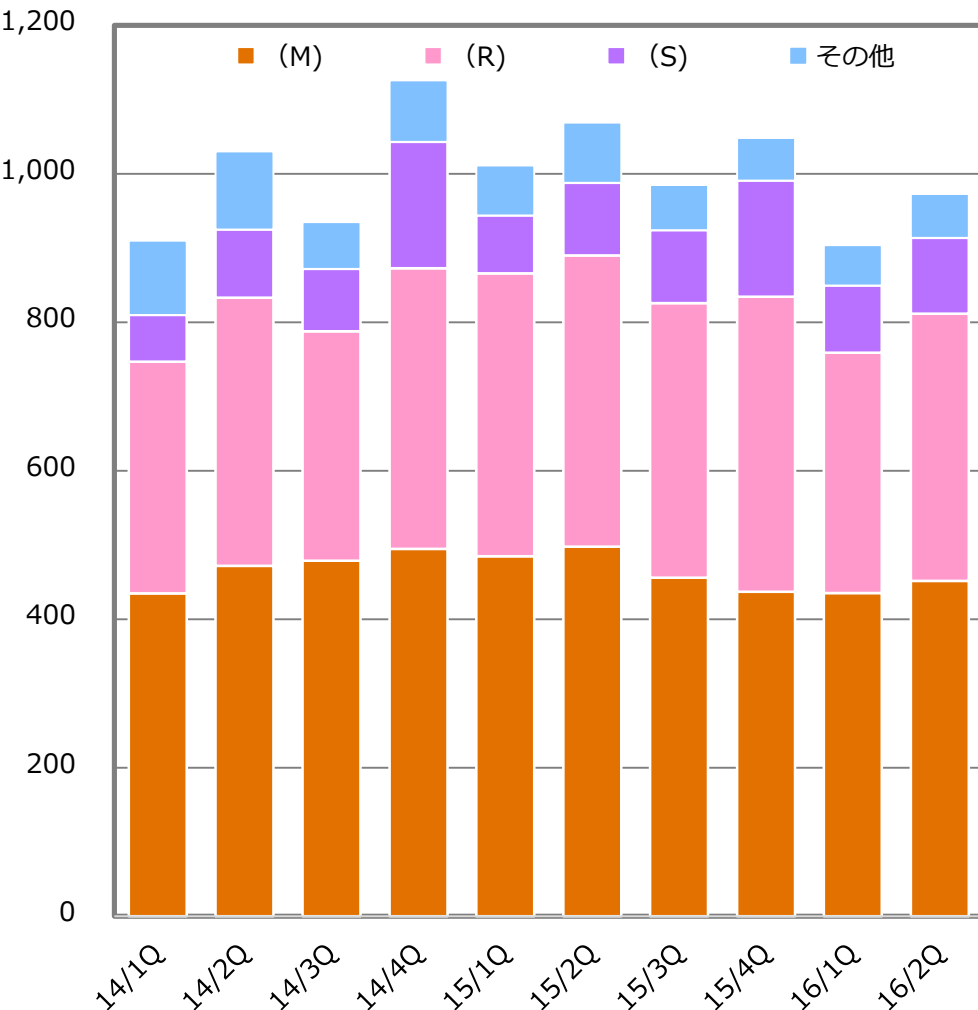
連結売上高・営業利益推移（06年度～18年度計画）



四半期連結売上高推移

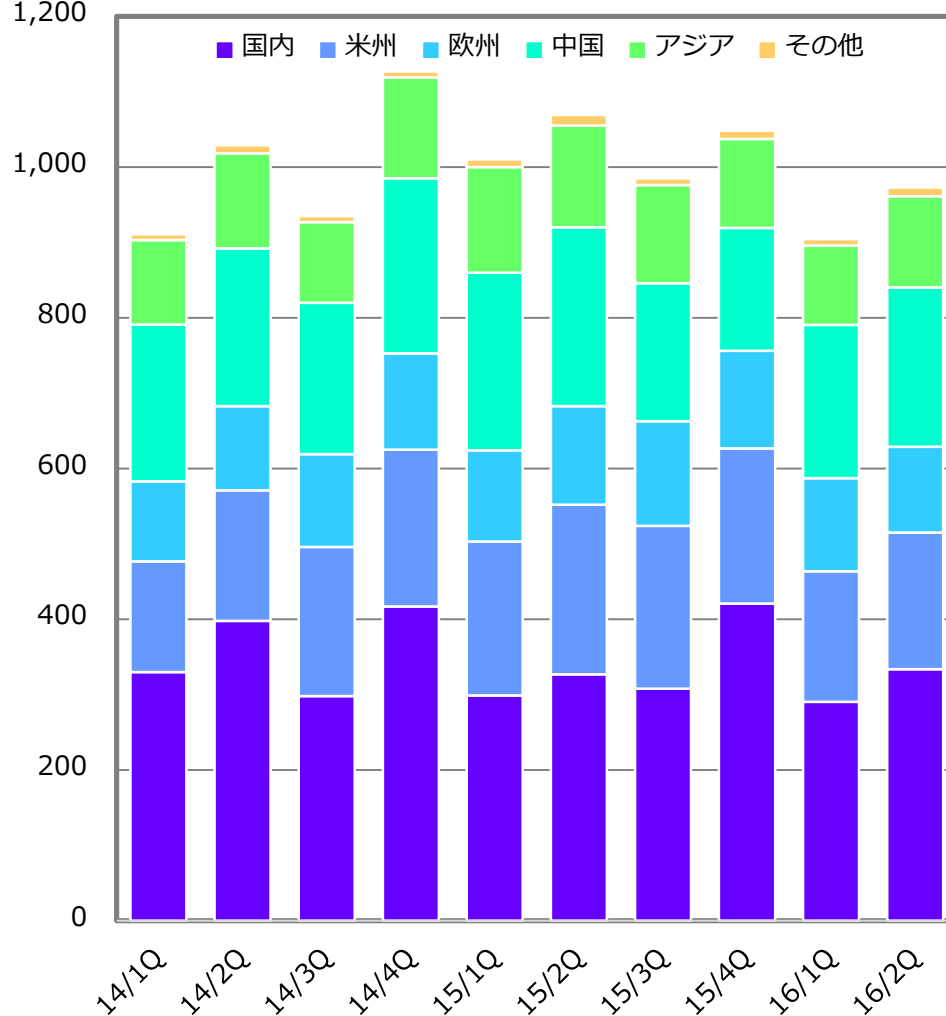
セグメント別

(億円)



仕向先別

(億円)

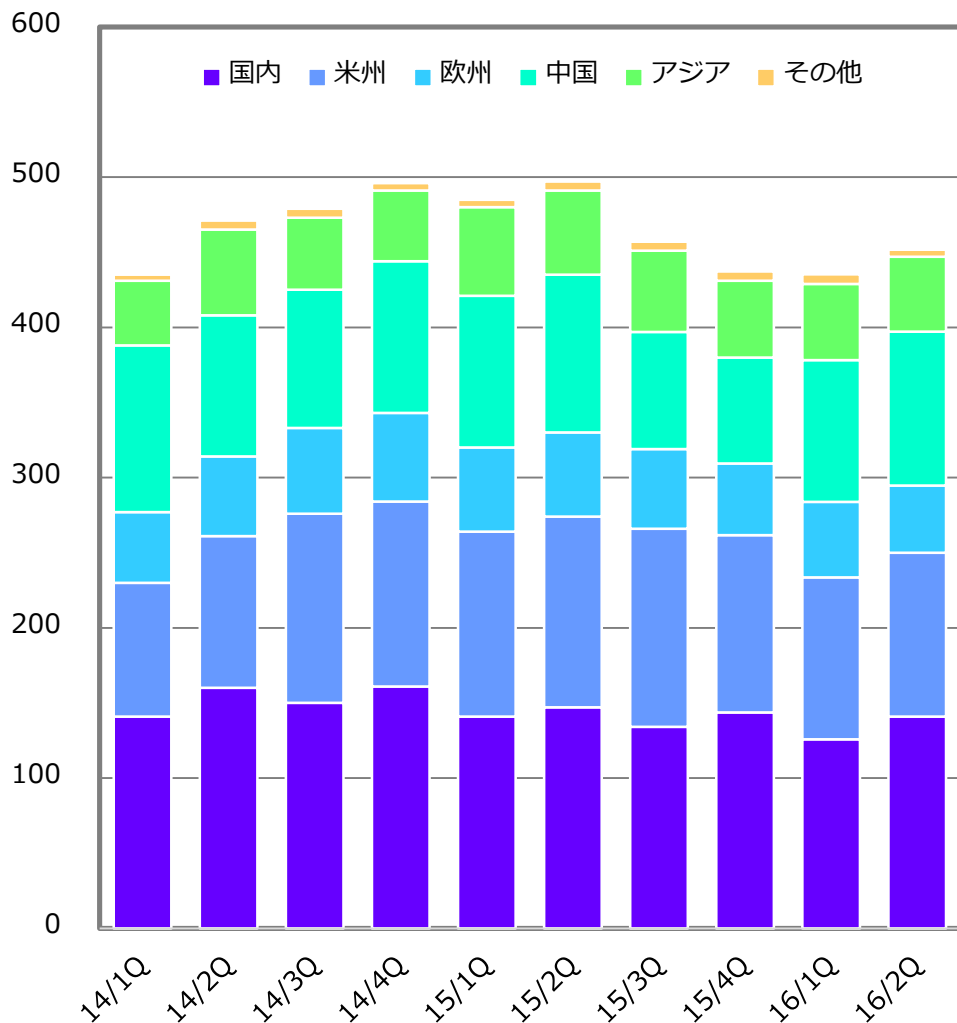


[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

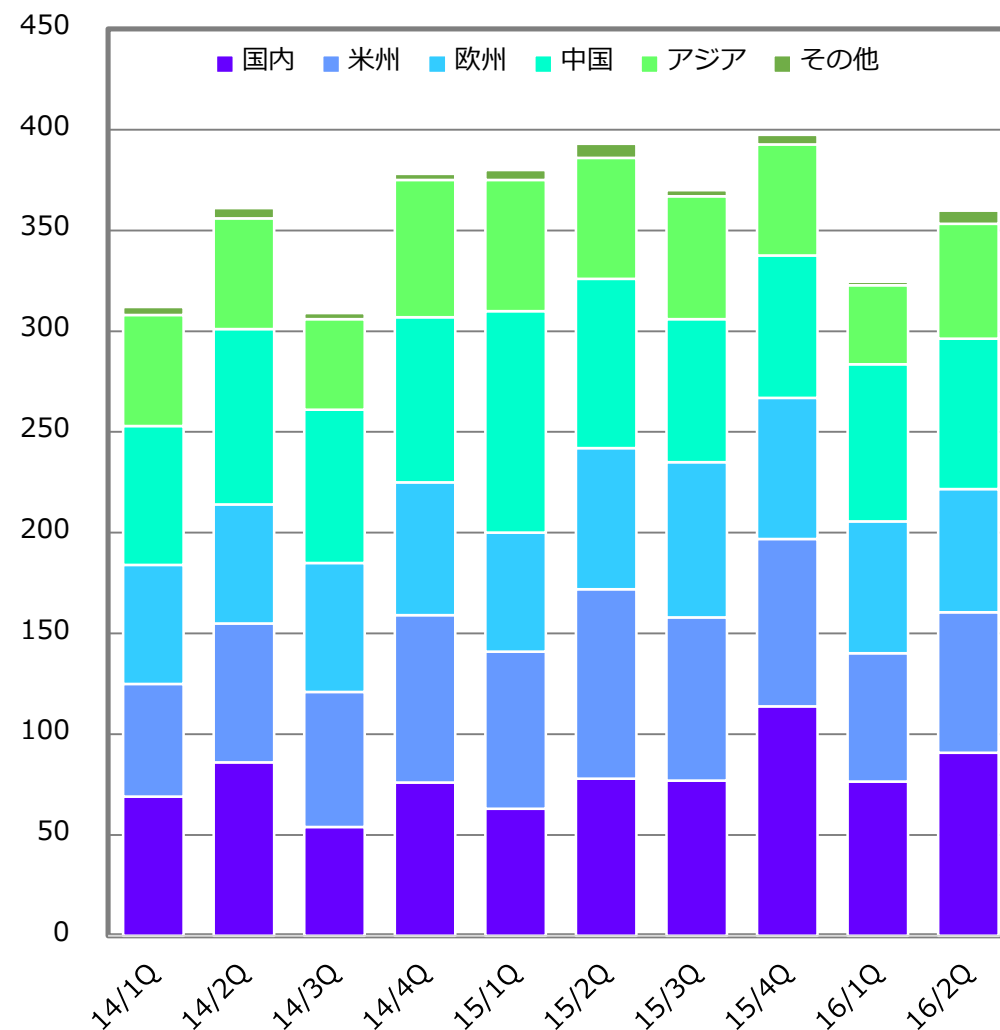
(M)モーションコントロール

(億円)



(R)ロボット

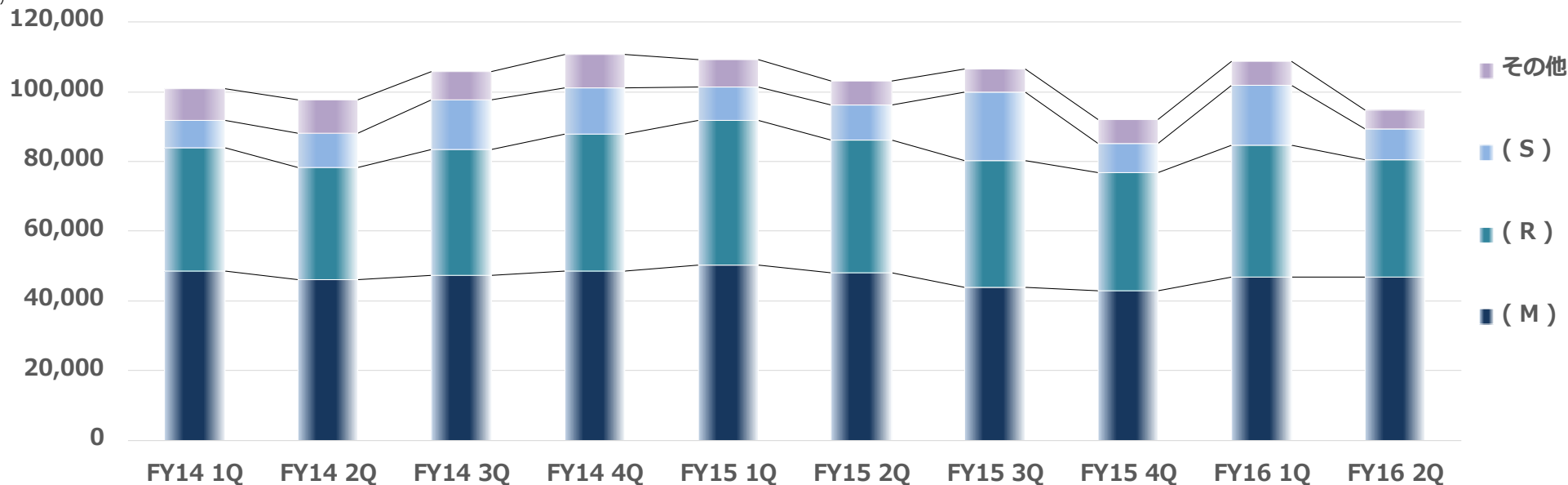
(億円)



四半期別連結受注推移

※為替は期中平均レートを使用

(百万円)



		FY14				FY15				FY16	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	+11%	+15%	+15%	+30%	+8%	+6%	+1%	-17%	-1%	-8%
	QoQ	+18%	-3%	+8%	+5%	-1%	-6%	+3%	-14%	+18%	-13%
YoY	(M)	+11%	+23%	+20%	+22%	+3%	+5%	-8%	-12%	-7%	-3%
	(R)	+22%	+10%	-2%	+30%	+17%	+18%	+1%	-14%	-9%	-11%
	(S)	-3%	+1%	+58%	+60%	+23%	+3%	+40%	-37%	+78%	-13%
QoQ	(M)	+22%	-5%	+3%	+3%	+3%	-4%	-9%	-2%	+9%	-0%
	(R)	+18%	-9%	+12%	+9%	+6%	-8%	-4%	-7%	+12%	-11%
	(S)	-7%	+26%	+44%	-5%	-28%	+5%	+96%	-57%	+103%	-48%
為替レート	円/ドル	102.2	102.3	110.0	118.4	120.2	123.5	121.0	118.5	110.8	103.5
	円/ユーロ	141.0	137.9	139.8	140.0	131.2	137.4	133.9	129.7	124.5	115.6

[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

主要生産拠点



YASKAWA